



江戸川区議会議員（無所属）

神尾てるあき

てるてるネットワーク

第62号

2020年8月
発行

てるてるネットワーク編集部
江戸川区春江町3-32-3



瑞江葬儀所の煙やにおいの改善と地域の共生を考える！

1. 瑞江葬儀所(瑞江斎場)について

瑞江葬儀所は、東京都がまだ東京市であった昭和13年に、都区内唯一の公営火葬場として開設されました。開設当初から他の模範となりうる理想的な火葬場を目指して「無煙・無臭・無公害の施設」「葬前の礼を厚くし、その取扱いを丁重にする」「炉の格差を設けず、低廉な料金で、心付けは無用」等を基本理念に運営されています。昭和50年には火葬場の特徴でもある煙突をなくしました。一般的に火葬場は地域では迷惑施設と思われがちです。瑞江葬儀所のように住宅地の中で、地域の理解のもとに建設されているケースは珍しいと言えます。そのため、瑞江葬儀所は近代火葬施設の草分け的存在とも評価されています。これまで私もこの地域に住む者として、火葬場と地域の共生が実現できていると感じていました。

2. 瑞江葬儀所から発生する煙やにおい

ところが、ここ数年、地域の方々から「黒い煙が出ていることがある」「火葬する際の独特のにおいが気になる」という話を度々うかがうようになりました。実際に私も煙が出ている状況を見たことが何度もあります。



(画像は黒煙が出ている時のもの)

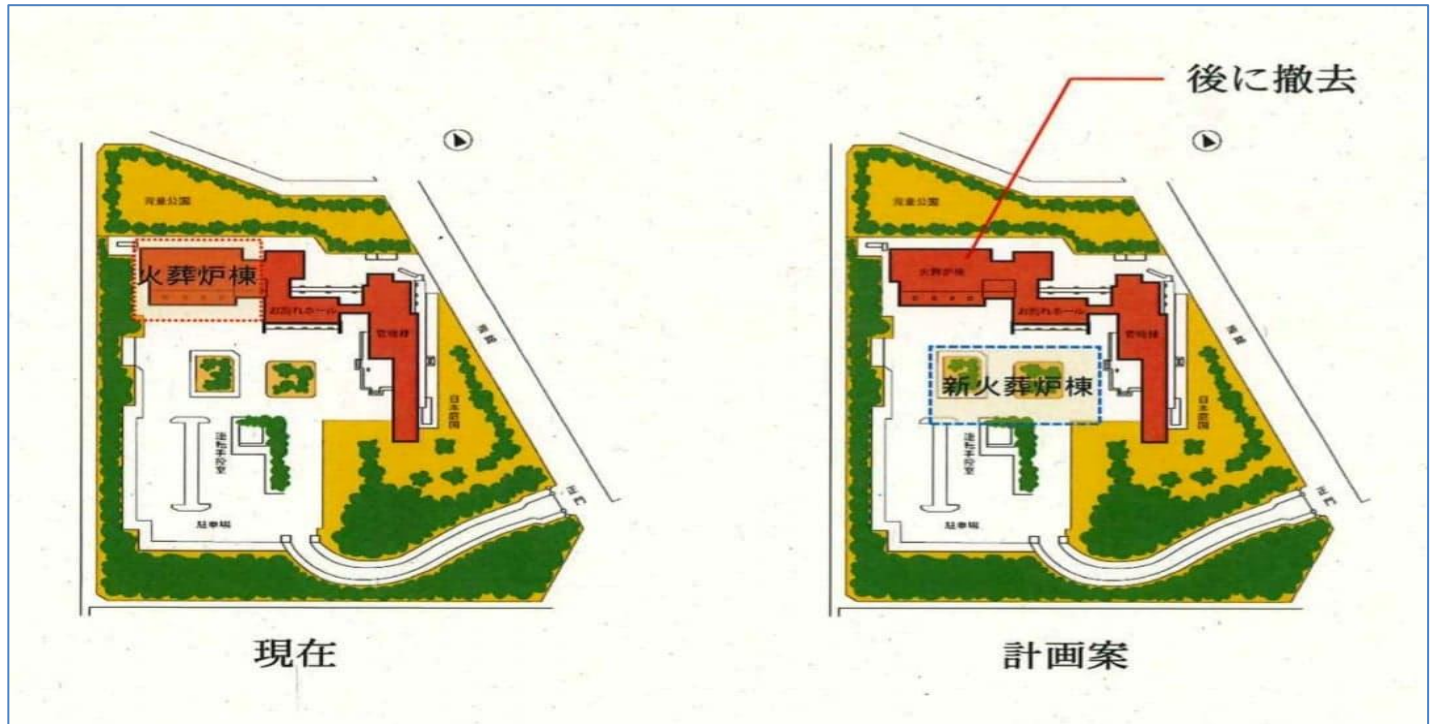
本来は煙もおいも出ない設備になっているはずですが、経年により、その機能も衰えてきているのではないかと推察します。瑞江葬儀所は東京都の施設ですので、江戸川区が管理しているものではありません。しかし、地域における生活環境に大きく関わる施設であり、江戸川区としても地域住民との共生を再構築すべきであると感じています。

3. 江戸川区議会での質問と東京都への要望

瑞江葬儀所の煙やにおいの問題については、平成30年決算特別委員会において、私が質問・要望をしたことがありました。これがきっかけとなり、江戸川区は東京都に対して、現状の調査と対応を求めました。また併せて、江戸川区選出の東京都議会議員を介して、東京都に対して煙やにおいの改善を求めました。さらに、令和2年6月25日の江戸川区議会第2回定例会本会議の一般質問において、再度、瑞江葬儀所の煙やにおいの改善と地域との共生について質問・要望をいたしました。

4. 東京都が火葬炉の改修と新火葬炉棟の建設計画を決定！

上記のような地域からの要望により、東京都は火葬炉の老朽化を確認した上で、20炉ある火葬炉設備を順次改修することを決定しました。また、敷地中央部に新火葬炉棟(10炉)の建設する計画を公表しました。新火葬炉棟の完成後(令和5年度予定)は、現在の火葬炉棟は撤去される予定です。これらのことにより、地域における煙やにおいの問題は改善が図られるものと考えます。



(東京都が予定している火葬炉棟の建て替え計画案)

5. 現場目線で確かな未来を！

今回の事例のように、地域の声を区政に届けることが具体的な制度や政策につながるケースはたくさんあります。これからも「現場目線で確かな未来を！」のキャッチフレーズのもと、区民目線での活動を続けてまいります。引き続き、皆様の声をお聴かせくださいますよう、お願い申し上げます。

神尾昭央(かみおてるあき) プロフィール

1982年(昭和57年)静岡県西伊豆の土肥町(現在の伊豆市)で生まれる。

大学進学を期に江戸川区へ。日本大学 法学部 法律学科(法職課程)卒業。

駿河台大学 法科大学院(法務博士)修了。衆議院議員秘書として7年間務める。

ホームヘルパー資格を取得して福祉現場に従事。3児の父親として子育て奮闘中。

2015年江戸川区議会議員選挙 初当選。2019年江戸川区議会議員選挙 再選。

江戸川区議会建設委員会。子育て・教育力向上特別委員会。椿町会。江戸川消防団第5分団。

日本大学校友会江戸川桜門会 幹事長。江戸川区倫理法人会 前会長。江戸川区吟剣詩舞道連盟 理事長。

東京青年会議所(JC)江戸川区委員会。春江小学校 PTA 副会長・おやじの会。

ソラミミスト(タモリ倶楽部・空耳アワー採用3回)。 趣味：詩吟、ボウリング、回文。

【神尾てるあき事務所】 〒132-0003 東京都江戸川区春江町 3-32-3 公式 HP⇒

TEL 03-5662-5116 FAX 03-5666-2356 メール info@kamioteruaki.jp

